

屬する彼は、インド、ギリシア派の創始にまでも力を及ぼし得なかつた。例へば、フランスで、クロギス Clovis 王が、ゴールロー Gallo-romain 美術の發達に影響し得なかつたに異ならないのである。且つ、阿育王が、ペシヤワールの大塔下に收めた著名な佛骨龕が、スプーナー Dr. B. Spooner に依つて發見せられて以來、其貨幣で判斷し得る所を最も正確に云ひ表して見れば、其時代即ち紀元一世紀末に於て、佛像の型が已に様式化して居たのである。更に、佛像の一つで得た最も古い銘文の時代は、紀元前三年に想定しなければならぬのである、従つて手代は益正確なものとなり、——不幸にして繪畫は全く不明に屬してゐるが——佛の彫像の現はれたのは、紀元前一世紀最後の四半中として大なる過誤はあるまいと思ふのである。

此の時代にバクトリアは、已に蠻民侵寇の波に覆はれてから久しい事であり、佛像の原型發生の地であり得る點は凡てなかつた事は、こゝに取立て、いふ程でもあるまい。之と異つて、この混種像の必要が、兩語で記した貨幣の必要と同様に認められたのは、印度であつて、イランではなく、古代パロ